

質問回答書

件名 横浜市立脳卒中・神経脊椎センターにおける令和6年度DX伴走支援業務委託

項目	質問	回答
提案書評価基準表 プロポーザル評価表	2 業務実施体制 (3) 安全管理体制における緊急時の対応とはどのようなことを指しているのか例示を頂けないでしょうか。	災害発生時における情報受伝達手段の確保、個人情報等の情報漏えい時の迅速対応等を想定しています。
業務説明資料 4 業務の内容	(1) 「病院DX推進チーム」(仮称) および会議は、すでに立ち上がっているのでしょうか。もしくはこれからメンバーを選定する予定か。これから選定する場合、人数や職種、会議の頻度をご教示いただけますようお願いいたします。	「病院DX推進チーム」(仮称) の院内メンバーは現時点で7名(医師1名、看護師2名、理学療法士1名、事務3名)です。 情報共有や意見交換については業務用SNSを活用することを基本としていますが、月1回程度の対面会議の開催についても想定しています。
病院DX推進基本方針	DX方針に記載の「フェーズ1 インフラ整備」は具体的にどこまで進んでいるのか、ご教示いただけますようお願いいたします。	専用Wi-Fi&ローカル5G整備については、民間事業者提供の5Gエリア調査を令和6年7月に実施、デジタルサイネージ等における情報発信については、令和5年10月、院内に広告付き周辺案内地図を設置しましたが、総じて情報収集・検討段階に留まっています。
業務説明資料 5 業務スケジュール(予定)	「DX戦略に基づく取組の実施・進捗管理・効果測定」とありますが、短期間での取り組みと効果測定になると想定しております。既存の取組は有無、と効果指標として、定量・定性のどちらの評価を期待されているかご教示いただけますと幸いです。	DX推進における効果指標については、基本的に定量評価を想定しています。 ただし、令和6年度はDX戦略の策定が主たる業務となるため、具体的な取組については実証実験のようなものに留まると考えており、効果指標についても、そもそもどのような項目を指標とすべきか模索する時期となるものと想定しています。